



石岡市立府中中学校

SCHOOL NEWS FUCHU

No. 6

R6. 9. 2

〔校訓〕 素直 誠実 自律

〔生徒数〕 1年 128 2年 128 3年 136 計 392

いよいよ 9 月、前期のまとめの時期です。

長く暑い夏休みが終わり、学校に生徒の笑顔がもどってきました。2学期制になりましたので、9月は前期のまとめの時期となります。3日に実施される期末テストの結果などを踏まえ、生徒自身が自己の学習状況を振り返り、次の学びへとつなげていくことができるようにしたいと考えています。

9月以降も、学校教育目標「心を磨き、共に考え、自ら実践する生徒の育成」に向かって、保護者や地域の皆様と教職員が力を合わせて、教育活動を前に進めていければと考えています。引き続きよろしく願いいたします。

府中中学校のトピックス

◎第2回 PTA 本部役員会・実行委員会 8月19日(月)に、第2回 PTA 本部役員会・実行委員会を開催いたしました。PTA の在り方等について、本質的な議論をすることができ、大変有意義な時間とすることができました。

◎校内研修 教職員は、夏休み期間中、校内で、時には外に出て、たくさんの研修に参加しました。生徒が豊かに学ぶためには、教職員も学び続ける必要があります。写真は、校内で実施した「ICT の活用に係る研修」や「スクールカウンセラーによる研修」の様子です。



なお、スクールカウンセラーは、おおよそ週1回、木曜日に来校しています。また、週1回、金曜日を中心に、カウンセリング等の機能の充実のため、心の教室相談員を配置しています。カウンセリング等を希望する場合には、担任にご相談ください。

生徒の声

今回は、石岡市中学生平和大使派遣事業に参加した2年生2人の声をお届けいたします。(8月27日(火)に石岡市役所にて行われた報告会におけるスピーチより一部抜粋)

◎2年1組 千葉 心美さん 「忘れられた歴史は繰り返す」と、被爆者の方が語っていました。二度とこのような出来事を繰り返さないためにも、この戦争で起きた惨劇を次の世代へ語り継ぎ、核兵器の恐ろしさを伝えることが大事だと思います。今ある平和とは悲惨な過去があったからこそできた今です。

今日聞いてもらった皆さんにも、この戦争の被害がどれほどひどいものだったのかと言うことを周りの友人や家族の方々と話し合い、一人でも多くの人に知ってもらいたいです。そして、戦争によってこんなにも多くの方が辛く悲しい思いをしたということを、語り継いでいかなければならないと思っています。戦争からは不幸しか生まれないということを世界中の人々が確信すれば、もっと平和な世界になるのではないかと思います。皆さんで平和のバトンを繋いで、幸せな未来を創りましょう。

◎2年2組 熊抱 康明さん 平和記念資料館では、私が戦争について興味をもった国語の教科書に記載されていた「砂が燃える」などの内容は、原爆の恐ろしさを例える表現ではなく、実際に起こったことだと知り、原爆の被害は私が想像していたことよりも遥かに悲惨でした。また、私たちが普段使っている教科書に載っている内容だけでなく、原爆が投下されたあとの影響で白血病などの病気にかかり多くの人が死んでしまった話しなど、原爆の本当の怖いところは、投下された後その近くにいた人が病気にかかり、長い間苦しまなければならなかったことだと思います。

私は、戦争はあってはならないことだと思います。同じ過ちを繰り返さないためにも、周りの人だけでなく、次世代にも伝えていかなければなりません。平和な世界を実現するため、私たちは感謝の気持ちや思いやりの心をもてば、相手の心に寄り添うことができ、世の中の無用な争いがなくなると思います。これからは、より相手の立場を理解し、感謝の気持ちと思いやりの心を忘れないようにしたいと思います。

2年生職場体験学習

夏休み期間中に、2年生は職場体験学習に参加しました。幼児教育施設、商店、飲食店、公共施設等、多くの地域の皆様、保護者の皆様にご協力いただきました。職場で働く大人の方と直接関わること、実際に「働く」ことを体験することは、学校だけではできない、生徒にとって大変貴重な学びになると考えています。今後、2年生はこの学びをもとに、自己の生き方について考える学習を進めていく予定です。

また、今年度はコロナ禍明け久々の実施となりました。次年度は、活動日数を増やして実施する方向で検討しています。



夏休み中の大会等の結果

- 茨城県総合体育大会バドミントンの部 出場
- 石岡市中学校卓球大会 男子団体 優勝
- 茨城県吹奏楽コンクール県南地区大会 優良賞
- 石岡地方中学校野球大会 第3位
- 英語プレゼンテーションフォーラム県南地区大会 出場
- 茨城県中学校剣道団体選手権大会 優秀選手賞

教育コラム

今回は、「人生に悩んだら『日本史』に聞こう」(著者:ひすいこたろう&白駒妃登美)から、夢の叶え方に関する記述について紹介いたします。

「秀吉は、天下統一のために、人生をささげてきたのではないのです。もしそうだとしたら、途中で息切れしていたはず。大名になるまでだって、19年もかかっているのですから。

それに、秀吉が天下人を最初から狙っていたのだとしたら、信長が亡くなったときに、いよいよ自分の出番だと喜んだことでしょう。でも秀吉は違った。本能寺の変の報に接した秀吉は、信長の死を嘆き、周囲の者たちがあわてるぐらい大泣きしています。

秀吉は、遠い未来に目標を定め、「いま」をその手段としたのではなく、いつでも「いま、ここ」に全力投球だったのです。秀吉は、雑用係では、雑用係に胸ときめかせ、自分のやれることを精一杯やった。足軽になっては、足軽に胸ときめかせ、自分ができるところを精一杯やった。

その結果、まわりから応援されて、次々と扉が開いて、いつのまにか天下人へと運ばれていったのです。

おそらく日本人は、ずっとこういう生き方をしてきたのではないのでしょうか。」

～9月の行事予定～

2	月	夏休み明け集会・委員会活動	17	火	新人戦壮行会・心の教室相談員 (PM)
3	火	前期期末テスト	19	木	スクールカウンセラー (AM)
4	水	時間割Ⅱ期開始	20	金	5時間授業・市新人戦(～21日) 3年生実力テスト・心の教室相談員
6	金	45分6時間授業・心の教室相談員 (PM)	22	日	秋分の日・市新人戦予備日
7	土	親子奉仕作業(1学年)	23	月	振替休日
9	月	1年男子水泳学習(山新プール)	25	火	部活動終了時刻17時20分(9月中) 県南新人水泳
12	木	スクールカウンセラー (AM)	26	水	スクールカウンセラー (AM)
13	金	心の教室相談員 (PM)・おまつり事前指導	27	木	心の教室相談員 (PM)
14	土	石岡のおまつり(～16日)	30	月	委員会活動・教育実習開始
16	月	敬老の日			